TNTmips 表示画面ウィンドウの重なり方の設定

- (A) X デスクトップモードでは、表示画面で要素を選択するときに、
 表示画面の上に重なって表示しているテーブルはそのまま表示画面の上に残っています。
 (ウィンドウのタイトルバー部分をクリックすればそのウィンドウは前にきます)
- (B) Windows デスクトップモードでは、同じ操作をすると、テーブルは表示画面の後ろに行きます。

要素を選択時に、テーブルをそのままの位置にして操作したい時は下記設定を。(Windows7) TNTmips を起動中、タスクバーの「隠れているインジケーターを表示」より、

X Server Preferences の Option タブの「Windows Desktop Options」の 「Focus follows mouse」を ON にする。

Windows デスクトップモードでも上記(A)の動作になります。(切りかえに X の再起動は必要なし)

2	14	\times	3	
	₩	\mathcal{A}°		
カスタマイズ				
САР КАН	5 67 A -	- 🔥	P	

MicroImages X Server Preferences				
Screen Measure Options				
 Show font errors Backing Store Save Unders Automatically copy PRIMARY selection to/from Windows clipbe Let display driver do color management (ICM) Smart Scheduler 				
Windows Desktop Options Focus follows mouse Auto-raise window on mouse focus Snap windows to screen borders and other windows Keep child windows above their parent window modal children only	III V			
Changes take effect the next time the server is started				
OK キャンセル ヘル	,1			



↓ 要素を選択しても表示画面の上に重なっているテーブルは後ろに隠れない

また、この設定によって、表示ウィンドウのタイトルバーをクリックしてわざわざアクティブにしなくても、 マウスを置くことにより2倍拡大や縮小などのショートカットキーが使えるようになります。

(株)オープン GIS

2015/6